

令和2年5月7日（木）
第7学年

臨時休業日中の 課題（追加）

教科	課題の内容	連絡・提出等
技術 家庭	【技術】4月の課題「材料と加工」の「キャビネット図」 に続いて、「身の周りを整頓する製作物」を設計・製作 します。 ①「自分の片付けたい（収納したい）もの」 ②実際に作る棚・箱・ケース・台の形を考える。 ①②についてレポートを書く。 *詳しい説明は、裏面を読んでください。	①②の両方、最初の授 業で提出してくださ い。

技術科 7年 授業開始までの課題

※文章は長いですがレポートの内容は多くないのでしっかり読んでください。

例年キャビネット図を勉強したあと「見の周りを整頓する製作物」を設計・製作しています。

- ・自分の家で使用する物です。(人と同じものは作りません)
- ・基本的には何かを収納する棚、箱、ケース、台などです。
- ・材料は木の板一枚です。(大きさなどは下に書きます。)

以上から①「自分の片付けたい(収納したい)物」を紙にまとめましょう。

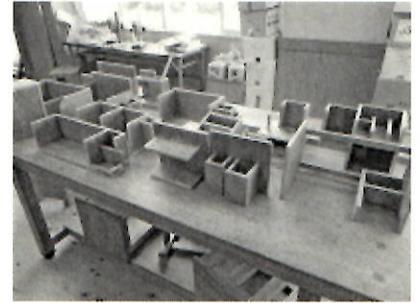
例 本(教科書、雑誌、漫画、小説など)

小物(文具、アクセサリ、カード、ミニフィギュアなど)

その他(ゲーム機、ソフト、スマホなど)

次に②実際に作る棚、箱、ケース、台などのだいたいの形を考える。

(難しいのであれば上記の片付けたい物の候補をたくさん探しておいてください例年これは宿題になっています、漫画やゲームを学校に持ってくることはできませんので。)



評価のポイント

- ・完成する作品としては小学校の図工に似ているかもしれませんが、大切なのは「自分でこういうものを作りたい」「少しでも工夫や努力をしたい」という点なので収納したい本などをたくさん考えておいてください。
- ・「本」とだけ書くのではなく「漫画〇〇が10冊」「〇〇のプラモデル2体」など具体的に名前や数も書いたほうがよいです。
- ・上記のように発想や意欲を評価するので一度書いたメモは消さずにいくつかアイデアを書いてください、それも評価します。
- (実際完成する物に収納できなくても良い、「これをこう書いたほうが良いのでは?」と言った工夫はどんどんしてください、間違えていても試行錯誤したことを評価します。)

以下製作物まで考える場合のヒント

一人分の材料の縦横厚さの木の板一枚、ボンド、釘

- ・材料の大きさ 縦 150mm 横 600mm 厚さ 15mm が2枚 縦 30mm 横 600mm 厚さ 15mm が2枚
- ・材料が余るのは可
- ・100均等のフック、取手、鏡、蝶番(扉金具)、
- 一部分だけ透明なプラスチックの板を使うなどの小さなパーツを付け足すのは可
- ・木の板を買ってきて付け足す(材料を増やす)のは不可
- ・くり抜いたり、角を丸く削ったりするのは可
- ・斜めに削る接合するは加工法や強度を研究すれば可
- ・板を薄くするのは不可
- ・レポート①②形式は自由です。提出は最初の授業で。



※授業時数は週1時間がめやすの教科です。学期末評価は家庭科と合わせて出ます。